

2013年12月27日

ステークホルダーの皆様へ

株式会社UMN ファーマ
代表取締役会長兼社長 平野達義

このたび、2013年度の業績予想修正の開示をいたしました。2,000百万円を予想していましたが売上が93百万円にとどまったことにより、各利益段階におきまして、当初予想を大きく上回る損失を計上する業績予想の修正をいたしました。2013年の主要な売上はインフルエンザワクチンの中国における提携及びバイオ医薬品製造受託事業における収益であり、その性質上、開示が困難ではありますが、この時期の開示に至った背景等についてお知らせいたしたいと思っております。

今年10月に台湾および中国について、台湾のワクチントップ企業である國光生物科技にインフルエンザワクチンの商業化に関する優先交渉権を供与いたしました。この優先交渉権は、排他的ではなく、当社は引き続き中国におけるライセンス供与について複数の現地企業と交渉を続けてまいりましたが、本年度においては、ライセンス供与及び事業提携が成立しない見通しとなりました。提携成立の「タイミング」と提携の「質」のバランスは、提携交渉にあたっては重要な要素ですが、当社としましては、優先交渉権を与えている國光生物科技も含めて、複数企業と引き続き交渉しており、「質」を重視し、有利な提携を引き出すことを優先いたしました。

バイオ医薬品製造受託事業につきましては、年初複数の大型の引き合いがあり、受託内容のすり合わせをしてまいりましたが、委託先の戦略変更等の理由により、結果として大型案件を受注及び収益計上できませんでした。しかしながら、先に公表した国立感染症研究所からの製造委託を始め、製薬企業や大学からの受託実績を積み重ねており、今後の受託に向けて、より一層努力する所存であります。

一方、当初業績予想に織り込んでいませんでしたノロウイルス・ロタウイルス混合ワクチンに関しましては、製造プロセスの確立により、開発初期より複数企業から興味を示され、提携交渉を行ってまいりました。年度内の提携合意には至らなかったものの、複数企業と提携の枠組み等については、ほぼ固まりつつあり、最終の詰めを行っているところであります。

以上の状況により、この時期での下方修正の開示となりました。現在進行中の提携や受託に関する交渉のうちいくつかは成立し、2014年度業績に反映されるものと考えております。

我々の目標は、まず、中期経営計画でお示した2015年の黒字化であり、これを実現することが私の使命であります。その達成に向けて、全力を尽くすことをお約束するとともに、2016年以降、継続して成長していける、企業価値を高めていける企業にUMNファーマを育ててまいる所存です。今回の業績予想修正では皆様にご心配をおかけいたしますが、我々の目標に向けた活動に、今後とも皆さまの温かいご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。